

第 77 回静岡県中学校英語弁論大会実施要項

1 目 的 本大会は、英語教育の一環として中学生の英語話し方能力の向上を図り、将来国際社会の一員として国際理解・親善に寄与することを目的とする。

2 主 催 静岡県教育研究会英語教育研究部

3 後 援 読売新聞社

4 大会詳細

(1) 日 時 令和 7 年 10 月 3 日(金) 12:20～16:20 (受付 11:50～12:00)

予備日: 10 月 10 日(金) 同時刻

※自然災害や病気感染等の不測の事態により開催が危ぶまれる場合は、当日朝 6 時の時点で部長・副部長が協議し、開催可否や方法について決定し、開催しない場合は 7 時までに静教研ホームページに掲載する。出場校の担当教諭は同ホームページを確認し、出場者及びその保護者に連絡をする。ホームページには以下の QR コードからもアクセス可。



<https://skyken2.sakura.ne.jp/index.php>

(2) 会 場 静岡県男女共同参画センターあざれあ大ホール (6 階)

静岡市駿河区馬渕一丁目 17 番 1 号 TEL 054-255-8440

予備日会場: 同上

(3) 参加資格 ア) 高円宮杯全国大会に準ずる

イ) 県東部・中部・西部の各地区大会で選ばれた、それぞれ 6 名の代表生徒計 18 名

※ただし、1 校 1 名を基本とする。出場生徒は指定された順番通りに弁論をし、順番の変更は認めない。また、出場予定生徒が参加できなくなっても、別の生徒を繰り上げて参加させることは認めない。

ウ) 私立学校および特別支援学校については、各地区大会参加にあたり、準会員になっていることを確認する。各地区大会前の予選等はこの限りでないが、予選等が静教研主催となっている場合や、東部・中部・西部の各地区大会に参加する場合は、参加申込手続きと負担金の納入が必要となる。

【準会員について】静岡県教育研究協会準会員規定に基づき、負担金を納入し、準会員に登録することで、県内の公立小・中学校以外の児童・生徒が、同会が関与する調査研究活動に参加することができる。

- (4) 発表内容 ア) 自作で議論は自由。ただし、発表時に歌を歌うこと、原稿をステージに持ち込むことを禁ずる。原則として、地区大会で用いた原稿から変更しない。
イ) 制限時間 5 分以内（時間超過は全国大会に準じ減点とする）
ウ) 視覚に訴える道具や拡声器の使用、過度演出・演技を禁止する。

(5) 審査 ア) 審査委員 日本人 2 名、県教育委員会高校教育課 ALT 1 名の計 3 名
（県総合教育センターALT 1 名がコメントシートの記入・助言を行う。）
イ) 審査方法 3 部門（内容・英語力・表現）で審査。特に内容を重視。
（内容 20 点、英語力 15 点、表現 15 点の 50 点満点）
※審査結果に対して、審査員に質問や抗議することを禁止する。

(6) 表彰 ア) 入賞 3 名・高円宮杯より賞状（読売新聞社静岡支局長贈呈）
・研究部よりトロフィー（研究部長贈呈）※要返却
・研究部よりトロフィーのレプリカ
※入賞者 3 名を高円宮杯全日本中学生英語弁論大会の出場資格者とする。
イ) 特別賞 若干名・審査委員長として盾（審査委員長贈呈）
ウ) 参加賞 全員・研究部より賞状（研究部長贈呈）

(7) 申込み ア) 方 法 ・各地区幹事教諭は、県大会出場権を得た生徒について、学校名・学年・性別・氏名・論題・緊急連絡先等を記載した出場者名簿をメールで県事務局へ提出する。
・出場者は、スピーチ原稿(A4 片面縦・Word 形式)をメールで県事務局へ提出する。
・出場者は、高円宮杯参加申込書(各地区へ事務局より送付)を県大会当日、受付に提出する。
※職印、写真添付を忘れない。
イ) 期 日 **9 月 18 日 (木) 16:20 必着**(大会終了後、速やかに提出。)
ウ) 申 込 先 〒439-0018 静岡県菊川市本所 670
菊川市立菊川東中学校 内
静岡県教育研究会英語教育研究部事務局 前川恭佑 宛
TEL : 0537-35-2335 FAX : 0537-35-2497
Email : kiku-higashi@kzc.biglobe.ne.jp

5 地区予選 各地区、**9 月 18 日 (木)**までに予選大会を実施する。各地区は要項を通知する。

- 6 その他 ア) 発表中の写真およびビデオ撮影は、主催者（委託業者）のみとする。
当日の写真、DVD の購入を希望する場合は、事前に配布される様式により、当日申し込む。
- イ) スピーチ原稿は、A4 片面縦・Word 形式にて、次の要領で作成する。
ファイル名は「学校名_名前」とする。

余白は左右 20mm 上下は指定しない	My Dream (一行あける)
姓・名の順で記載する	Fuji Sakuya (Fujisan J.H.S.) (一行あける)
My dream is... One day...	フォント：Times New Roman 文字サイズ：タイトル 15 ポイント 本文 8～12 ポイント 行 間：指定なし（1 枚に収める） そ の 他：段落間の間隔をあげない 両端揃えて入力する
原稿の最後に Thank you (for listening) は書かない	

- ウ) 自然災害等により、予備日をもって県大会を開催できなかった場合は、各地区 1 名を選出し、合計 3 名に高円宮杯全日本中学生英語弁論大会の出場資格を与える。
- エ) 県大会出場者は、必ず、高円宮杯全日本中学生英語弁論大会の日程を確認し、代表に選出された場合は出場できることを参加条件とする。

※令和 7 年度の高円宮杯は 11 月 26 日(水)から 11 月 28 日(金)であり、本県においては 11 月 27 日(木)に 3 年生を対象とした学力診断調査を実施予定である。**県大会への参加にあたっては、高円宮杯に出場できる環境を十分に整えた上で申請をするよう、事前にご配慮願います。**

静岡県中学校英語弁論大会詳細

1 参加資格 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に準ずる

- (1) 日本の中学校に在籍する生徒で、学校長が推薦したもの
- (2) 当該学校長は推薦の際、事実関係を確認の上、下記に抵触しないことを証するものとする。
 - a. 満5歳の誕生日以後に通算1年以上または継続して6か月以上、英語圏(注)に居住した者
 - b. 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6か月以上在籍したことがある者
 - c. 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏出身の者がいる場合
 - d. 過去に本大会の中央大会にて1位～3位に入賞した者
- (3) 上記の条項に違反して出場した場合、失格とする。
- (4) なお、インターナショナル幼稚園・保育園は、参加資格の要件に抵触しない。
- (5) 個別事案における参加資格の有無について、最終的な判断の権限は JNSA 基金に帰属する。

注：本大会の参加資格における「英語圏」とは、英語を第一言語、公用語、公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいう。※以下参照（2021年10月時点）

アイルランド、アメリカ合衆国、アンティグア・バーブーダ、イスラエル国、インド、ウガンダ共和国、英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）、エチオピア連邦民主共和国、オーストラリア連邦、ガイアナ共和国、ガーナ共和国、カナダ、カメルーン共和国、ガンビア共和国、キプロス共和国、キリバス共和国、クック諸島、グレナダ、ケニア共和国、サウジアラビア王国、サモア独立国、ザンビア共和国、シエラレオネ共和国、ジャマイカ、シンガポール共和国、ジンバブエ共和国、スーダン共和国、スリナム共和国、スリランカ民主社会主義共和国、スワジランド王国、セーシェル共和国、セントクリストファー・ネイヴィス、セントビンセント及びグレナディーン諸島、セントルシア、ソマリア連邦共和国、ソロモン諸島、タンザニア連合共和国、ツバル、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ共和国、トンガ王国、ナイジェリア連邦共和国、ナウル共和国、ナミビア共和国、ニウエ、ニュージーランド、パキスタン・イスラム共和国、バハマ国、パプアニューギニア独立国、パラオ共和国、バルバドス、東ティモール民主共和国、フィジー共和国、フィリピン共和国、ブルネイ・ダルサラーム国、ベリーズ、ボツワナ共和国、香港、マーシャル諸島共和国、マラウイ共和国、マルタ共和国、マレーシア、ミクロネシア連邦、南アフリカ共和国、南スーダン共和国、モーリシャス共和国、ヨルダン・ハシェミット王国、リベリア共和国、ルワンダ共和国、レソト王国、レバノン共和国

2 制限時間 5分（時間超過は減点となる）

- ・計時はスピーカーの第一声、または第一動作から始まり、最後の一声で終了する。
- ・第一動作とは、開始時の例は含めず、ジェスチャー等でスピーチの内容に関連する動きを指す。
- ・スピーチの最後に Thank you. を言う、言わないにかかわらず、原稿で判断し、原稿の最後を言い終わった時点で終了とする。
- ・時間超過のベルは鳴らさない。